

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: みどり創出・担い手支援担当
 内線: 3149 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P23	みどりの街なみ創出事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費	
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	なし		針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	11, 13, 15
					分野施策	1001 みどりの保全と創出	SDGsターゲット	11-7, 13-1, 15-1
1 事業の概要 「身近な緑」は、暮らしやすい豊かな環境を維持していく上で重要な要素であるが、都市化の進展に伴い減少しつつある。 そのため、「身近な緑」の保全・創出・活用に取り組むことで、ふるさと埼玉を象徴する緑、貴重な緑を次世代に継承していくことを目指す。 ア 施設等緑化事業費 △3,102千円 イ みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 △335千円			5 事業説明 (1)事業内容 ア 施設等緑化事業費 7,498千円→4,396千円 イ みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 12,249千円→11,914千円 (2)事業計画 ア 施設等緑化事業費 (ア)市町村支援事業費 2,463千円 市町村が実施する緑化事業に対して補助金を交付する。 (イ)園庭・校庭維持管理補助事業 1,916千円 (ウ)埼玉県みどりのアドバイザー事業 2,531千円 (エ)県有施設緑化事業 588千円 イ みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 みどり豊かな街づくりを進める施策である緑化計画届出制度の普及啓発及び、特に優れた緑化計画の優良認定等を行う。 緑化計画届出制度等による身近な緑の創出面積 実績: 令和4年度～令和5年度の2年間の累計 126.1ha(年度目標50ha) 目標: 令和4年度～令和7年度の4年間の累計 200ha 令和4年度～令和8年度の5年間の累計 250ha (3)効果 創出した緑が適切に維持管理され、損失することなく活用できていることにより、県民が、身近な緑のうるおいと安らぎを享受でき、貴重な緑を次世代に継承できている。(身近な緑の創出面積が令和4年度から令和8年度までに250haを達成する。) 【活動指標(アウトプット)】緑化計画届出制度の緑化計画届出書届出件数 380件/年 【活動指標(アウトカム)】身近なみどりの創出面積 50ha/年 (4)補正予算の概要 ア 補助金の執行額が見込みを下回ったことによる減額 △1,511千円 イ 執行経費節減による減額 △1,926千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 地方交付税(包括算定経費) (区分)企画費(細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.5人=42,750千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,437	繰入金					0	16,310
現計額	19,747						0	

事業内訳書

事業名	みどりの街なみ創出事業費		
単位事業名	施設等緑化事業費	予算額	△ 3,102千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△3,102	—	
合計	△3,102	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△503	—	経費節減による減
旅費	△900	—	経費節減による減
需用費	△147	—	経費節減による食糧費、消耗品費、修繕料の減
役務費	△41	—	経費節減による通信運搬費の減
負担金、補助及び交付金	△1,511	—	補助金の執行が見込みを下回ったことによる減
合計	△3,102	—	

単位事業名	みどり豊かな街づくり普及啓発事業費	予算額	△ 335千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△335	—	
合計	△335	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△200	—	経費節減による減
需用費	△120	—	経費節減による印刷製本費の減
役務費	△15	—	経費節減による筆耕翻訳料の減
合計	△335	—	